



日本ELVリサイクル機構 ニュースレター (ELV Newsletter)
 《編集・発行責任者》日本ELVリサイクル機構 広報部会長 永田 則男
 一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2番2号
 TEL: 03-3519-5181 FAX: 03-3597-5171
 メール: jaera-homepage@elv.or.jp H P: <http://www.elv.or.jp/>

特集

広報部会事業所訪問企画 第3弾

広報部会 木村委員の会社 「株式会社コマゼン」を訪問!

会社概要 「株式会社コマゼン」

- 創 業 1985年 (今年で創業33年)
 - 従業員数 40名 (平均年齢38歳)
 - 取扱台数 年間 約9500台
 - 売上高 11億2400万円
 - 資本金 1200万円
 - 事業所 全4拠点 (合計4850坪)
- ※写真解説 上: 株式会社コマゼン本社
下: ビンゴガレージ



2月14日、「広報部会事業所訪問企画」の第3弾として、木村香奈子氏が代表取締役を務める愛知県の「株式会社コマゼン」様を訪問しました。

国道沿いの目立つ場所に、一般ユーザー向けの店舗「ビンゴガレージ」(<http://bingogarage.jp/>)を構えています。このコンセプトは、『車好きの創造』&『車の情報発信基地』(カーライフを楽しんでもらうために)です。

私たちの仕事には、自動車産業の末端にいるからこそその情報がたくさんあります。若者たちの車離れの中で、敢えてBtoCにチャレンジし、「カーライフ情報を発信していきたい」、「車好きの人が集える場所を提供したい」という木村社長の思いが込められています。

ここでは、廃車買取り(月40台)、レンタカー事業(月70台)の他、板金・修理、車検、パーツ販売、タイヤ預かり(次頁参照)など、多角的な事業を展開しています。勿論、最初から順調だった訳ではありません。開店当初は、お客様が全然集まりませんでした。地元の人達からは、「コマゼンは儲かっているから、税金対策であんな赤字の店を作っているのだろう」と噂されるくらいお客様が入らず、集客のつらさを味わった数年間がありました。そして、様々な試行錯誤を行ないながら現在に至ります。



取材中、木村社長(写真左)の
 「業界の変革期だからこそ知恵が湧き出してくるのではないかな」
 「こんな時代に生きていることを楽しみたい」
 「あの時の時代を作ったのは私たちだよと言える今を作りたい」
 ……といったお言葉が印象的でした。

目次

巻頭言 1
 広報部会事業所訪問企画 第3弾
 「株式会社コマゼン」..... 1
 共同出荷事業 3
 ブロック長会議 4
 中国・四国ブロック会議 4
 関東ブロック会議 4
 鉄スクラップ最新情報 5
 行事予定・お知らせ 6
 編集後記 6

巻頭言

明治維新150年の年で、大河ドラマ「西郷どん」が始まり、見学施設に5万人の来場者があったそうです。

私の住む鹿児島には、かつて薩摩藩独特の教育制度があり、それは、「郷中教育」というものでした。年上の者が年下の者を教え、先輩が後輩を指導し、同輩はお互いに助け合います。心身を鍛え、躰や武芸を身につけて勉学に励み、「負けるな、うそをつくな、弱い者をいじめな」という、もっとも必要なことの学びが郷中教育にはありました。

私も歴史を学び、感謝の気持ちを忘れずに人生においても一所懸命に取り組み、人や環境に優しいリサイクル業を目指したいと思います。

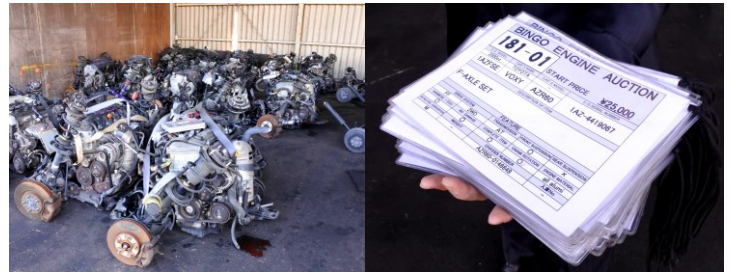
(広報部会 伊地知 志郎)

コマゼンのちょっとした工夫 —— 広報部会メンバーが発見しました！

タイヤ預かりサービス

平成28年秋より開始したタイヤ預かりサービスは、地元ユーザーをしっかりとリピーターとして確保しています。1シーズン1万円の料金で冬・夏タイヤの付け替え作業工賃無料。保管スペースに困っているユーザーからは大好評です。300セットまで保管可能で、日々固定客が増えているようです。

エンジン入札会



毎週木曜日に外国人バイヤー向けにエンジン等の入札会を独自で開催しています。4年前から始めた入札会は、今では毎回約30基の出品で売り上げが約150万円になっています。多くのバイヤーの値付けを見ることで、適正相場の把握ができ、何より1基あたりの売上単価を上げることができるようです。

ニブラ作業所の屋根を利用した津波避難所の設置（避難訓練も定期的の実施）



▲階段を上って避難所から下を見ると、このような景色が。結構な高さです！

東日本大震災を機に、平成23年6月にニブラ作業所の屋根を利用した津波避難所を設けました。業界的にもめずらしい試みです。定期的に避難訓練も実施しています。港が近いという立地的に、もしものことを考え、80人収容可能なスペースを確保しています。社員のみならずお客様や近所の方々の命を守りたいというコマゼン様の思いやりが、そのまま会社の業績に繋がり、拡大の一途を突き進んでいます。

感想コメント —— 広報部会メンバーが見学を終えて特に印象に残ったこと

社員さん40名で平均年齢38名！とても若くて工場内も活気がありました。木村社長より、ビンゴガレージは車好きの集まれる場所を目指して作ったというお話や海外エンジンの入札によって相場の状況が見えるといった話には、とても興味がありました。国内リユースパーツも1万5000点の在庫があり、社外パーツの導入にも積極的に取り組まれていて、とても勉強になりました。自社でも若い方が何でもチャレンジできるような仕組みを考えます。

社屋の傍に伊勢湾が広がっており、自然災害のリスクがあるとのこと。そうした災害に備え、社内に「津波避難所」を設けていたことには驚きました。避難所は自動車解体機の高さ10mの屋根を利用して作られています。避難所内には非常用のボートや毛布、飲料水等が備蓄されていました。万が一の出来事にも対応できる危機管理体制は大変勉強になりました。

コンピューター基板／エアバッグカプラー／センサー類の3品目を年度内2回に分けて集荷

2017年度共同出荷事業、全2回の集荷が完了

2017年度貴金属類の共同出荷事業について、年度内全2回の集荷が完了しました。ご協力いただきました会員の皆様には心より感謝申し上げます。前年度と比べてみると、参加事業所数や回収重量は前年度をやや下回ったものの、品位に大きな変化はなく、品位の安定化が図れていると言える結果となりました。

概要

【回収対象品目】

- コンピューター基板
※アルミ無・アルミ有で単価は異なる
- エアバッグカプラー
- センサー類（O2センサー・AFセンサー）

【集荷時期】

- 第1回集荷
2017年7月 1日～7月31日
- 第2回集荷
2018年1月15日～2月15日

参加事業所数・回収重量

	参加事業所数 [社]	回収重量 [kg]				合計
		基板（無）	基板（有）	ABカプラー	センサー類	
	180	12,293.0	1,492.5	2,978.0	14,535.5	31,299.0
1回目	121	5,356.0	344.5	1,374.0	5,325.0	12,399.5
2回目	148	6,937.0	1,148.0	1,604.0	9,210.5	18,899.5

品位

※以下の数値は第1回集荷分のみ、第2回集荷分は現在分析中

	基板（無）	基板（有）	ABカプラー	センサー類	合計
受入重量 [kg]	5,379.0	345.5	1,376.5	5,353.0	12,454.0
Au品位 [g/t]	106.0	81.0	82.0	0.0	-
含有量 [g]	570.2	28.0	112.9	0.0	711.1
Ag品位 [g/t]	896.0	830.0	47.0	54.0	-
含有量 [g]	4,819.6	286.8	64.7	289.1	5,460.2
Pd品位 [g/t]	72.0	48.0	0.0	0.0	-
含有量 [g]	387.3	16.6	0.0	0.0	403.9
Cu品位 [%]	17.7	16.1	17.9	0.0	-
含有量 [kg]	952.1	55.6	246.4	0.0	1,254.1
Pt品位 [g/t]	0.0	0.0	0.0	299.0	-
含有量 [g]	0.0	0.0	0.0	1,600.5	1,600.5

LET'S CLICK!



- ブロック・地域ごとの集計データはこちら → <https://goo.gl/KHaHyy>
- 各年度の事業報告書はこちら → <https://goo.gl/ceL7ye>

2017年度最後の開催となる「第4回ブロック長会議」

ブロック長会議を開催、支部制導入などについて協議



3月6日、ELV機構会議室(東京都港区)にて、「第4回ブロック長会議」が開催されました。全国のブロック長が集まる会議としては2017年度最後の開催となり、平地ブロック長会議長をはじめとするブロック長や本部役員らを含め、14名が参加しました。

今回の主な議題は、支部制の導入および日本自動車リサイクル部品協議会(リ協)との合流における決定事項となっており、支部制の導入については、事務局からの説明の後、各ブロック長から支部運営に関する質問や導入に際しての懸念事項などが挙げられ、細部にわたる議論が展開されました。

リ協との合流については、リ協との協議の中での決定事項を確認し、今後のスケジュールの共有などを行いました。その中で、合流の目的を明確化すべきといった意見もありました。

その後、事務局から各種報告があり、来年度の安全作業・適正業務指導の対応に関して、指導員が不足しているブロックがあるという懸念事項が挙げられ、今後の指導員育成などの課題が共有されました。最後の議題として、2018年度の計画について議論がなされ、ブロック長会および各ブロックの次期体制を確認しました。

工場見学と会議の2部構成

中国・四国ブロック会議



2月26日、岡山県にて、「第3回中国・四国ブロック会議」が開催されました。今回初の試みとして、樹脂についての見識を深めることを目的としたゴム工場の見学会が企画され、見学会とブロック会議の二部構成で行われました。

まず、見学会では岡山市内にある「株式会社水内ゴム」様を訪問し、社員の方から説明を受けながら、工場内を見学しました。見学後、同市内の「サムライスクエア会議室」に移動し、会議が行われました。ここでは、日本自動車リサイクル部品協議会との合流や支部制の導入等の説明があり、それらについて質疑応答・意見交換がなされました。

次期体制などについて協議

関東ブロック会議



3月8日、ELV機構の会議室(東京都港区)にて、「第2回関東ブロック会議」が開催されました。この会議には、三枝ブロック長をはじめ、ブロック所属の組合代表者の方々、酒井代表理事、事務局など総勢10名が参加しました。

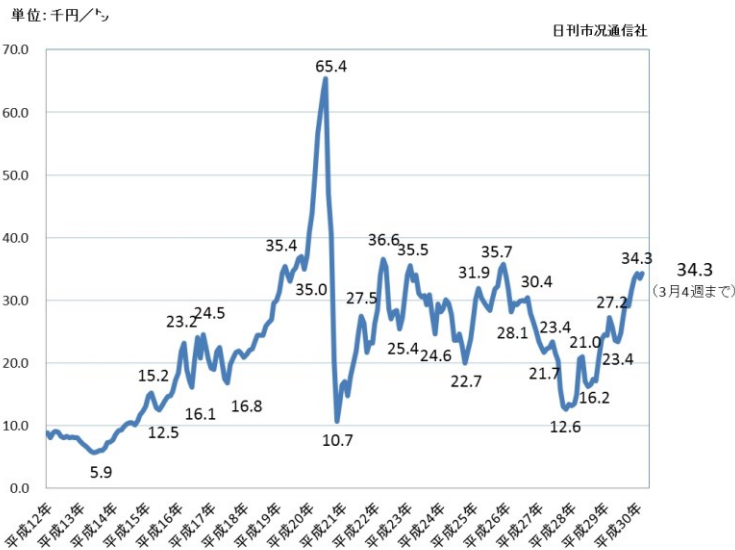
冒頭、本部事務局より、自動車リサイクル業界一体化に向けた日本自動車リサイクル部品協議会との合流の進捗報告や支部制の導入への協力依頼があり、各組合からは支部制の導入における課題などが挙げられ、それらをもとに活発な意見交換がなされました。その後、ブロック内の次期体制に関する協議や各組合の近況報告などが行われました。

鉄スクラップ最新情報

■ 3月第5週(26日)の鉄スクラップ動向 ■

[提供: 日刊市況通信社]

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移



3月26日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	36,500 ~ 37,500	前週比値上がり
	南関東	36,500 ~ 37,500	前週比値上がり
名古屋		35,500 ~ 38,000	横ばい
関西	大阪	35,500 ~ 36,500	横ばい
	姫路	35,000 ~ 35,500	横ばい

現代製鉄、日本産鉄スクラップを据え置き 台湾・ベトナム向け商談は値下がり

日本産鉄スクラップ輸出市場で、韓国大手・現代製鉄は3月23日に新規価格を提示。全品種とも前回(3月16日提示)価格から据え置き、H2を1トンあたりFOB37,000円、HSとシュレッダーを同40,000円、新断バラを同43,000円などとした。東国製鋼が3月12~16日の週は商談を実施しなかったため、韓国向け輸出価格の指標として日本側は現代製鉄の提示価格を注視していた。今回の結果を受けて日本からは「新断が欲しい状況は変わっていない」(商社筋)、「横ばい提示は概ね予想通り」(シッパー)などの反応が出ている。

ただ、国際的な相場は依然として不透明だ。台湾やベトナム勢は3月中旬から新規成約を回避し様子見に徹している。この間、日本や米国などの供給国からのオファー価格は下落。台湾向け米国HMSコンテナオファー価格はCFR360ドル前後と直近ピークから30ドルほど下落したが、台湾側はさらに値下げを求めているもよう。また、ベトナム向けの日本玉商談価格もH2CFR360ドル台へ値を下げている。為替の円高進行も弱材料だ。

【関東地区】 関東市場の鉄スクラップ市況は堅調様子見

関東市場の鉄スクラップ市況は電炉筋の値上げ改定が3月20日から広がったことから堅調な推移を維持している。電炉筋の鉄スクラップ需要は好調さを維持しており、電炉筋の引き合いは引き続き強い。ただ、湾岸商社・シッパー筋の一部で高値修正下げを実施した筋も見られ、様子見機運が広がり始めている状況。市中に広がっていた強い先高感も解消している。H2炉前実勢価格は36,500~37,500円中心。H2浜値は36,500円中心。

【東海地区】 上げ一服感広がり荷動きは上向き気配

名古屋地区の電炉は3月13日から購入価格を500~1,000円引き上げた。H2炉前実勢価格は36,500~37,500円中心、高値38,000円どころとなっており、3月26日までここ2週間ほど値動きは見せていない。域内の鉄スクラップ市況は高止まり様子見気配にあるものの、既に海外市況は頭打ち感にある。このため業者間には値ごろ感が広がる格好にあり、3月第4週(19~24日)からは出荷への姿勢が広がり始めている。

【関西地区】 外部環境悪化受け市況ピーク感台頭

大阪地区の鉄スクラップ市況は模様眺め。電炉の入荷にはバラつきが依然として解消されておらず、積極購入の動きが継続している。しかし、アジア向け輸出商談ではミルによって希望価格を引き下げる動きが見られるなど、外部環境は日に日に不透明感が強まっている。このため関西でも市況にはピーク感が広がりつつある状況だ。大阪地区のH2炉前実勢価格は35,500~36,500円見当、新断バラは38,500~39,000円見当。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、3月26日午前時点のもの)

行事予定

4月の主な予定



- 4月 4日 (水)
 - 臨時常任役員会
- 4月10日 (火)
 - 第1回 広報部会
- 4月12日 (木)
 - 第6回 NAK情報交換会
- 4月14日 (土)
 - 第1回 九州ブロック会議
- 4月19日 (木)
 - 第1回 常任役員会
- 4月26日 (木)
 - 自動車リサイクル士制度関係者検討会

お知らせ

会員数 (2018年3月末日時点)

総数 530社 / 会員 504社、賛助会員 26社

自動車再資源化協力機構からのお知らせ 車上作動処理監査での優秀事業所の公表

自動車再資源化協力機構(自再協)ホームページにおいて、「2016年度車上作動処理監査における成績優秀事業所」が公表されました。

<https://goo.gl/u36tJh> ←クリック!

対象は自再協が2016年度に車上作動処理監査を実施した事業所であり、この年度に監査を実施していない事業所は審査の対象になっていません。

合わせて「適正処理のための優れた取り組み事例」も紹介されていますので、ぜひご確認ください。



ELV機構 Facebook

日々の活動の様子をタイムリーに、写真つきで確認できます。(以下のURLをクリック!)

<https://www.facebook.com/JAERA.office/>

編集後記

2017年度の企画も今号で紹介させて頂きました株式会社コマゼン(愛知県)の取材で最後となります。コマゼンさんの社長は木村香奈子氏、今年の1月1日に就任されました。木村社長の積極的で何事にも挑戦する姿勢には、学ぶべきところがたくさんありました。▼これまで数多くの会社見学をさせて貰いつくづく思うことは、会社(中小企業)の強さとは、まさしく社員の結束力にあるということです。各社、設備の掛け具合や規模の大小は様々です。しかし決して規模だけではなく、社員の皆さんの働く姿にこそ本当の会社の勢いが現れているように思います。▼今回、コマゼンさんを見学して感じたのは、社員の皆さんが明るく生き活きと、とても良い雰囲気の中で業務をされていたことです。雰囲気の良い会社は心地良いものですね。きっとこれが木村香奈子社長率いるコマゼンの最大の魅力であり、強さでしょう。▼さて、前期は幾多の困難にもめげずニュースレターを継続発行することが出来ました。今期も内容の濃い紙面作り目指し、不撓不屈の精神で広報部会一同頑張って参ります。応援よろしくお願い致します。

(広報部会 部会長 永田 則男)